

区分・種別	重要文化財(工芸品)		
名 称	たち <small>こしらえ</small> 太刀 1口 銘 恒真 革包太刀拵		
所在地	今治市大三島町宮浦		
所有者	大山祇神社	管理団体	
指定年月日	明治34年3月27日		
解 説	<p>この拵は、総長105.5cm、大山祇神社所蔵のこの種のもののうちで最も古式である。頭、鐺<small>つば</small>の大切羽、俵<small>おおせつば</small>鉾<small>たわらびょう</small>などの表に出る金具は金銅でつくり、枝菊文を高彫で表わしている。鞘<small>さや</small>は茶しば革で包んでおり、革に包まれた部分（例えば革の破れ目から刀身をのぞかせている芝引<small>しばびき</small>など）足金物の太鼓金や革先金などは無地の赤銅である。</p> <p>なお、刀身は、刃長76.4cm、反り2.7cm、鑄造<small>しのぎづくり</small>、庵棟<small>いおりむね</small>である。鎌倉時代の作とみられる。</p>		

